



※この調査につきましてご不明な点がございましたら、下記へお問い合わせください。

**回答期限** ●月●日（●）まで

**【問い合わせ先】**

東御市 健康福祉部福祉課 福祉推進係

電話：0268-64-8888

Eメール：[suishin@city.tomi.nagano.jp](mailto:suishin@city.tomi.nagano.jp)

あなたご自身のことについて、お聞きします。【令和●年●月1日現在】

問1. あなたの性別をお選びください。

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2. あなたの年代をお選びください。

- |         |         |         |          |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 10歳代 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代 | 4. 40歳代  |
| 5. 50歳代 | 6. 60歳代 | 7. 70歳代 | 8. 80歳以上 |

問3. お住まいの地区をお選びください。

- |         |         |         |        |          |
|---------|---------|---------|--------|----------|
| 1. 田中地区 | 2. 滋野地区 | 3. 祢津地区 | 4. 和地区 | 5. 北御牧地区 |
|---------|---------|---------|--------|----------|

問4. あなたが東御市（旧町村を含みます。）にお住まいの年数をお選びください。

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. 1年未満       | 2. 1年以上5年未満   |
| 3. 5年以上10年未満  | 4. 10年以上20年未満 |
| 5. 20年以上40年未満 | 6. 40年以上      |

問5. あなたの世帯構成を、あなたを含めた年代別に人数をお答えください。

小学校入学前	小・中学生	中学校卒業後 ～65歳未満	65歳～ 75歳未満	75歳以上
( )人	( )人	( )人	( )人	( )人

問6. 現在の生きがいや楽しみにしていることについてお聞きします。あなたにとって、一番の生きがいや楽しみを次の中から一つだけ選んでください。

- |                       |                |
|-----------------------|----------------|
| 1. 家族の団らん             | 2. 子ども・孫の成長    |
| 3. 仕事（学校生活）           | 4. 友人・仲間との付き合い |
| 5. 趣味、スポーツ            |                |
| 6. 地域活動、ボランティア（NPO活動） |                |
| 7. 特にない               |                |
| 8. その他（               | ）              |

あなたが思う東御市の現状について、お聞きします。

問7. 下記の項目について、あなたの満足度はいかがですか。

(○は各項目に一つだけご記入ください。)

項 目	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
①隣り近所との関係					
②区、公民館の活動					
③子どもの育成会活動					
④子育て世帯への支援体制					
⑤高齢者世帯への支援活動					
⑥障がいのある方の暮らしやすさ					
⑦防災体制					
⑧災害時の弱者への支援体制					
⑨買い物、通院等の利便					
⑩公的手続きの利便					
⑪通勤や通学の利便					
⑫働きやすさ					

問8. あなたが、これからも安心して暮らしていくためにどんなことを望みますか。

次の中からもっとも望むものを三つまで選んでください。

1. 隣り近所による助け合い 2. 児童健全育成事業の充実 3. 子育て支援事業の充実 4. 高齢者・障がい者のみなさんにも暮らしやすいまちづくり 5. 医療・保健・福祉サービスの充実 6. 学校教育の充実 7. 不登校等の問題解決 8. 警察・消防等の防犯 9. 防災体制の充実 10. 雇用の安定 11. 自然環境の保護 12. 買い物、通院時の交通弱者への支援 13. わからない 14. その他 ( )
--

お住まいの地区について、お聞きします。

問9. 少子高齢化を背景に、あなたが、地区の今後について心配していることは何ですか。次の中から**一つ**選んでください。

- |                        |                     |
|------------------------|---------------------|
| 1. 介護をする人がいなくなる        | 2. 育児や養育をする人がいなくなる  |
| 3. 家事をする人がいなくなる        | 4. 個人や世帯の収入が減少する    |
| 5. 孤立する人が増える           | 6. 近所づきあいができなくなる    |
| 7. 地区の道路や施設等の維持ができなくなる |                     |
| 8. 家の修繕ができなくなる         | 9. 外出や移動を頼める人がいなくなる |
| 10. 病院や買い物を頼める人がいなくなる  |                     |
| 11. 田畑の管理ができなくなる       |                     |
| 12. その他 ( )            |                     |

問10. お住まいの地区で、あなた自身の隣り近所とのお付き合いの状況はどうですか。該当する番号を次の中から**一つ**選んでください。

- |                                  |
|----------------------------------|
| 1. 困りごとや悩みごとを相談しあうことがある          |
| 2. 子どもや高齢者の世話、買物や家事を頼む、頼まれることがある |
| 3. たまに立ち話をする程度である                |
| 4. あいさつや回覧板を回す程度である              |
| 5. ほとんど付き合いはない                   |
| 6. その他 ( )                       |

問11. あなたは、隣り近所でお互いに助け合うことについて、どう思いますか。次の中から**一つ**選んでください。

- |              |                          |
|--------------|--------------------------|
| 1. 必要だと思う    | } 1. 2. を選んだ方は次へ進んでください。 |
| 2. どちらとも言えない |                          |
| 3. 必要だと思わない  | ⇒ 問14へ進んでください。           |

問12. 今後、地区で協力して取り組んで行くことが、必要だと思うものを次の中から三つまで選んでください。

- |                                  |
|----------------------------------|
| 1. 地域ぐるみで子どもたちの成長を助けること          |
| 2. 子育てで悩んでいる家庭への手助けをすること         |
| 3. 一人暮らし高齢者世帯、高齢者のみの世帯への手助けをすること |
| 4. 障がいのある方が、安心して暮らせるようにすること      |
| 5. 健康づくりのための活動を行うこと              |
| 6. 地域の防災活動を行うこと                  |
| 7. 生活困窮者への援助                     |
| 8. その他 ( )                       |

問 13. あなたの近所に困ったり悩んだりしている人がいた場合、どのような行動をされますか。次の中から**一つ**選んでください。

1. 自分の出来る範囲で支えたい
2. 民生児童委員に相談する
3. 行政に相談するよう伝える
4. 自分のことで精一杯で余裕がない
5. 何をしたいかわからない
6. その他 ( )

**心配事とその相談先等について、お聞きします。**

問 14. あなた自身が、現在心配していることはありますか。  
次の中からもっとも近いものを**三つまで**選んでください。

1. 仕事（学校生活）に関する事
2. 自分の健康に関する事
3. 将来の生活について
4. 家族の健康や介護に関する事
5. 子育てに関する事
6. 家族・親戚とのトラブル、人間関係に関する事
7. 子どもの結婚について
8. 近隣・地域のトラブル、人間関係に関する事
9. 災害時の避難方法
10. 買い物、通院時の交通手段
11. 特になし
12. その他 ( )

問 15. ご家族（ご本人を含みます。）についての心配事などを、だれかに相談したことはありますか。相談したことがない場合、その理由もお聞かせください。

1. 相談したことがある。⇒ 問 16 へ進んでください。
2. 相談したことがない。⇒ 下記の設問にお答えください。

「相談したことがない。」理由を次の中から**一つ**選んでいただき、問 17 へ進んでください。

- (1) 心配事がない
- (2) 心配事はあるが、相談先がわからない
- (3) 心配事はあるが、相談する相手がいない
- (4) 心配事はあるが、家族や自分で解決する
- (5) その他 ( )

問 16. 心配事などの相談先は、どちらですか。

次の中から当てはまるものを三つまで選んでください。

1. 家族・親戚
2. 友人・知人
3. 社会福祉協議会
4. 民間の福祉事業者（社会福祉協議会を除く。）
5. 福祉ボランティア活動をしている人等
6. 市役所（福祉課、健康保健課、子どもサポートセンター、  
地域包括支援センター、市民病院、温泉診療所など）
7. 医療機関（市民病院、温泉診療所は除く。）
8. 民生児童委員
9. 区の役員
10. 学校や保育園の先生
11. その他（）

問 17. いわゆるコロナ渦と現在の物価高騰により生活面で変化したこと（新たに発生した心配事など）があれば自由にお書きください。

**生活困窮者自立支援制度「相談窓口：まいさぼ東御」について、お聞きします。**

問 18. 平成 27 年 4 月から生活に困っている方の相談・支援を行う「生活困窮者自立支援制度」（まいさぼ東御）が始まりました。あなたを含めて周りで利用されているかたはいるでしょうか。次の中から一つ選んでください。

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1. 自分が利用している    | 2. 家族・親族が利用している |
| 3. 知人・友人が利用している | 4. わからない        |

※生活困窮者自立支援制度について

最低限の生活を維持できなくなるおそれのある生活困窮者に対し、包括的な支援体制を整備し、対象者の自立支援を行うことを目的としています。地域資源を活用しながら、就労等による経済的自立だけでなく、日常生活や社会生活についても、本人の状態に応じた自立を支援する制度です。

東御市では、社会福祉協議会内に相談窓口「まいさぼ東御」を開設しています。

問 19. あなたは生活困窮の問題や支援制度について、具体的にどのような支援が必要だと思いますか。

次の中から**一つ**選んでください。

1. 就労支援(求職活動、就労に必要な能力の形成への支援)
2. 生活支援  
(生活再建のための貸付や、家計管理など生活力を高めるための支援)
3. 学習支援(生活困窮家庭の子どもたちの学習支援や進級支援など)
4. その他( )

問 20. 生活困窮者に対し地域でできることは何だと思いますか。次の中から**一つ**選んでください。

1. 生活困窮の問題をかかえている人を区費の免除等で金銭的に支援すること
2. 生活困窮の問題をかかえている人がより支援を受けやすくするための啓発活動
3. 生活困窮の問題をかかえている人のプライバシーや人権を擁護すること
4. 生活困窮の問題をかかえている人と交流する機会と居場所をつくること
5. 生活困窮の問題をかかえている人の生活向上を見守ること
6. 生活困窮の問題をかかえている人の学習支援をすること
7. 生活困窮の問題をかかえている人の相談に応じ、関係機関につなげること
8. その他( )

**ボランティア活動、地域活動等への参加状況等について、お聞きします。**

問 21. あなたは、これまでにボランティア活動をしたことがありますか。

次の中から**一つ**選んでください。

- |                |   |        |
|----------------|---|--------|
| 1. 現在活動している    | ➡ | 問 22 へ |
| 2. 以前活動したことがある | } | 問 24 へ |
| 3. 活動経験がない     |   |        |

問 22. 活動しているボランティアの種類で当てはまるもの全てに○をしてください。

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| 1. 高齢者への支援   | 2. 障がい者への支援      |
| 3. 子育て世帯への支援 | 4. 自然・環境保全活動     |
| 5. 地区の活動     | 6. 防災・災害の被災者支援活動 |
| 7. 募金・寄付活動   |                  |
| 8. その他( )    |                  |

問 23. 活動しているボランティアの詳細を具体的にお書きください。

--

問 24. 今後のボランティア活動について次の中から**一つ**選んでください。

1. 是非活動したい	2. 機会があればやってみたい
3. 余裕がない	4. 興味がない

問 25. あなたの、現在の地域活動などへの参加状況はどうですか。

次の中から当てはまるもの全てに○をしてください。

1. 区（公民館、消防団等含む。）の活動	2. スポーツ団体の活動
3. 社会教育団体（趣味や娯楽を含む。）の活動	
4. 子育てグループの活動	5. P T Aや保護者会の活動
6. 市から委嘱された委員等の活動	
7. N P O等、有志によるボランティア団体の活動	
8. 参加していない	

問 26. あなたは地区の行事にどの程度参加されていますか。

次の中から**一つ**選んでください。

1. よく参加する	2. 時々参加する
3. たまに参加する	4. まったく参加しない

**災害時の支援について、お聞きします。**

問 27. あなたの一番近くにある避難所がどこか知っていますか。

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問 28. あなたが災害にあった際に、避難所へ行く方法はどれですか。

次の中から当てはまるものを**一つ**選んでください。

1. 一人で避難所へ向かえる	2. 同居家族に支援してもらいながら向かう
3. 近所の友人・家族に支援してもらいながら向かう	
4. 行政や社協等の支援を受けながら向かう	

問 29. もし、あなたが被災した時、安否確認や援助してくれる人は誰ですか。

次の中から**一つ**選んでください。

1. 隣近所の人	2. 区の役員
3. 民生児童委員	4. 家族・親戚の人
5. 市役所の職員	6. いない
7. その他 ( )	

問 30. あなたは「要援護者」から、「避難支援者」としてお願いされた場合、どのように対応しますか。

次の中から**一つ**選んでください。

1. 引き受ける
2. 自分のことで精一杯で引き受けられない
3. 区、隣組など、地域の組織で対応する
4. わからない
5. その他 ( )

問 31. 災害や緊急時、ひとり暮らしの高齢者や障がいのある方の安否確認や支援を行うための体制は次のうちどれが一番よいと思いますか。

次の中から一番よいと思うもの**一つ**を選んでください。

1. 区が中心となって災害時支え合い台帳を整備し支援する
2. 隣近所が中心となって支援する
3. 社会福祉協議会が中心となって支援する
4. 民生児童委員が中心となって支援する
5. 行政、区、隣近所、民生児童委員、社会福祉協議会が連携して個別避難計画を作成して支援体制を構築する
6. その他 ( )

※個別避難計画とは、高齢者や障がい者等の配慮が必要な方のうち、災害時、自ら避難することが特に難しい方を対象に作成する避難支援のための計画です。

問 32. あなたは、普段の暮らしや生活に関する情報をどのようにして得ていますか。

次の中から**当てはまるもの全て**に○をしてください。

1. 家族・親戚	2. 友人・知人	
3. 新聞、雑誌、本	4. 市報「とうみ」	5. 議会だより
6. 社会福祉協議会報「ほほえみ」	7. はれラジ (エフエムとうみ)	
8. テレビ (ケーブルテレビを含みます)、ラジオ		
9. 民生児童委員	10. インターネット	
11. 民間の福祉事業者 (社会福祉協議会を除く。)		
12. 回覧板	13. 区の役員	
14. その他 ( )		

再犯防止法について、お聞きします。

問 33. 再犯防止についてどれくらい知っていますか。

次の中から**一つ**選んでください。

- |            |              |
|------------|--------------|
| 1. 知っている   | 2. 何となく知っている |
| 3. あまり知らない | 4. 知らない      |

※再犯防止法について

犯罪や非行をした人が社会に戻った後、再び罪を犯さないように指導・支援する取組を行うことで、市民が犯罪による被害を受けることを防止し、安全で安心して暮らせることを定めています。

問 34. 保護司のことを知っていますか。

- |            |              |
|------------|--------------|
| 1. 知っている   | 2. 何となく知っている |
| 3. あまり知らない | 4. 知らない      |

問 35. 保護司の活動拠点である東御・小県保護司会更生保護サポートセンターが総合福祉センター内にあるのは知っていますか。次の中から**一つ**選んでください。

- |            |              |
|------------|--------------|
| 1. 知っている   | 2. 何となく知っている |
| 3. あまり知らない | 4. 知らない      |

問 36. 社会を明るくする運動について知っていますか。

- |            |              |
|------------|--------------|
| 1. 知っている   | 2. 何となく知っている |
| 3. あまり知らない | 4. 知らない      |

問 37. 犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか。

- |                    |                  |          |
|--------------------|------------------|----------|
| 1. 協力したい           | 2. どちらかというと協力したい |          |
| 3. どちらかというと協力したくない | 4. 協力したくない       | 5. 分からない |

問 38. 再犯防止策の取り組みとしてどのような支援が必要だと思いますか。

次の中から**一つ**選んでください。

- |  |
|--|
| 1. 住居の提供・サポート（社会復帰のための住居の確保等）                |
| 2. 保健医療・福祉サービス支援（薬物依存症の治療、福祉サービスの提供等）        |
| 3. 地域社会との連携（保護司会が主催する啓発活動、地域住民と保護司会との交流等）    |
| 4. 就労支援（求職活動支援、就労に必要な能力の形成への支援）              |
| 5. 生活支援（生活再建のための貸し付けや、家計管理などの生活力を高めるための支援）   |
| 6. その他（ <span style="float: right;">）</span> |

